

# ようこそ 「うえだ下田部病院」 地域連携室へ



地域はわが家 Vol.28 2022 春

皆様こんにちは。うえだ下田部病院で地域連携室課長をしています越智と申します。今回は当院の「地域連携室」をご紹介します。

まず、構成メンバーは社会福祉士の資格がある4名のソーシャルワーカー(MSW)と退院調整看護師(NS)1名の計5名(越智MSW・橋爪NS・小林MSW・徳永MSW・萩本MSW)が在籍しております。

昨今の医療ニーズの多様化への対応として、この4月から橋爪師長が地域連携室へ配属されました。入退院部門に看護師が配属されることに疑問や違和感を持たれるかもしれませんが、看護視点からのスムーズな入院受入・退院までのプロセスが実現でき、退院支援の充実に繋がっています。入院前から、「病棟の看護師さんと話す事が出来る。相談できる。」といったイメージを持っていただければと思います。

業務内容としましては、「外来患者様の他院への予約」「当院・他院への入転院調整」「ご自宅等へ帰る際の退院調整」「在宅生活でのお悩みがあった際の相談業務」等があります。

どの業務も、患者様・家族様の状況をお聞きし正確に把握すること、適切なアドバイスが出来るように判断することが重要です。「聴き上手」を目指しています。

生活するということは本当に問題が様々です。とくに病院にかかるということは、何か不調があった時だと思えます。今まで出来ていたことが難しくなることや、どうしても自分達だけでは解決できないことも沢山あります。

そんな時に、相談できる場所。それが「うえだ下田部病院の地域連携室」です。

「地域はわが家 この街で生きたい」の法人スローガンのもと、どうすれば今までのように暮らせるのか。何かサービスの導入などの手はないのか。それを一緒に考えます。

また、終末期をどこで過ごすのかということも、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)【註】をもとに、当院としては力を入れています。在宅医療(訪問診療含む)の調整・生活サービスの調整・入院フォローの調整等、様々なバリエーションの中から、本人様・家族様が一番納得できる選択をお手伝いします。

もちろん、当院だけでは解決できないことばかりですので、周囲のサービス事業所や関連の事業所の懸け橋になれるように、日々精進しております。

病院やクリニックの先生方・地域の皆様、お困り事がございましたら、お気軽に地域連携室までご連絡下さい。

【註】患者様ご自身がご自分の価値観を認識し、今後の人生についてどう生きたいかを、患者様が主体となって、そのご家族や近い人、医療・福祉・ケアの担い手と共に考えるプロセスで「人生会議」とも言われています。

# 特定医療法人 健和会 広報誌

# 地域はわが家

2022. 春 Vol.28

- 院長ごあいさつ 特定医療法人健和会 うえだ下田部病院院長 関 庚輝
- ちょっとおじゃまします「社会福祉法人健康会 そらいろ保育園」
- ようこそ 地域連携室へ

## 院長ごあいさつ

特定医療法人健和会 うえだ下田部病院院長 関 庚輝

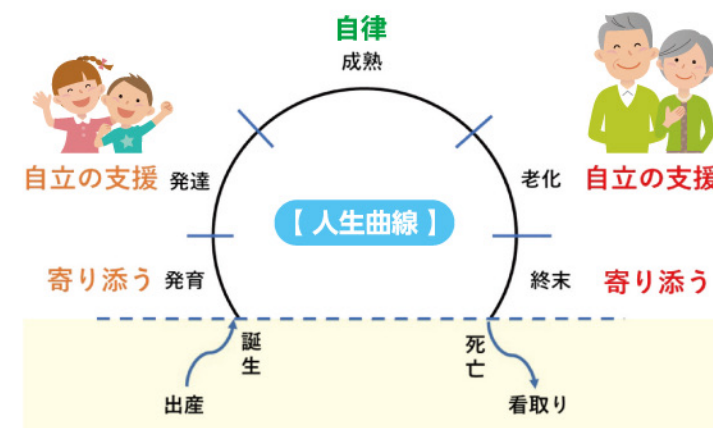


病院を含む健和会グループが今後提供していくサービスは次のようにまとめられます。

- 外来など：自律/自立を支援する医療と介護
- 寝たきりを生まない回復期医療
- 自立を支援する慢性期医療
- 寄り添う終末期医療
- 穏やかな看取り医療

これは、当法人とかかわりを持たれる方々に自らの「人生曲線」(下図)を自覚していただいてそれを深めていただく機会を提供し、その結果としてそれぞれの方がこの地域で穏やかで豊かな人生を過ごしていると実感できるように支援する様々な事業を、法人が今後推進していきたいと考えていることを意味しています。手始めにホームページをリニューアルして、ホームページをハブとしたオンラインのコミュニケーションネットワーク(「よろず相談システム」)を構築したいと思っています。

「人生曲線」を眺めると、発育・発達と老化・終末が人生の相において互いに対応していることが分かります。つまり、両者の人生の相における私どものかかわり方(サービス提供の仕方)は同じ考え方を基に



すべきであることを示唆しています。私どもが、これから提供していこうというサービスはどうあるべきか、その回答は人生のはじめの相を支える「保育」というものの中にあると期待されます。今回は、当法人と深いかかわりのある「そらいろ保育園」で実践されている保育から多くを学んでいきたいと思っています。





## 社会福祉法人健康会 そらいる保育園

今回は社会福祉法人健康会が2019年10月1日に企業主導型保育園(註)として開設・運営されているそらいる保育園にちょっとおじゃましました。

そらいる保育園は、特定医療法人健和会、医療法人庸愛会、社会福祉法人健康会、有限会社アイワで働く職員の子どもたちと共に地域の子どもたちを受け入れている定員40名の小規模保育園です。それでは、社会福祉法人健康会そらいる保育園の勝部徹保育課長にいろいろお聞きしたいと思います。

(註)企業が自社の従業員の働き方に応じて、多様に柔軟な保育サービスを提供できます。地域の子どもを受け入れることにより、施設運営の安定化を図ったり、地域貢献を行うことができます。

ちょっとおじゃまします



### Q そらいる保育園を一言でいうとどんな保育園でしょうか?

**A** そらいる保育園の保育理念でもある、ひとりひとりの育ちを大切にしている保育園です。大型の保育園でもなく、0歳から2歳しかいない小規模保育園でもないそらいる保育園は、0歳から小学校就学前まで継続して、ひとりひとりの育ちを大切に出来る保育園です。

### Q ひとりひとりの育ちを大切にしているそらいる保育園が目指している保育についてお聞かせください。

**A** 当園の強みは異年齢交流です。0歳から年長児までと一緒に過ごすことで、ちいさい子がおおきい子のやっていることをいつも見て真似をするんです。おおきい子はちいさい子がいつもそばにいるので、誰から何を言われるわけでもなく、自然とちいさい子の面倒を見るそんな大家族のような体験ができます。また、何百人と園児のいる保育園の行事ごとにひとりひとりにスポットライトを当ててというのはなかなか難しいのですが、当園は40人規模の保育園なのでみんなが主役になれる。ひとりひとりを主役にする保育を行うことで、自分自身を大切に、相手の事も思いやる事のできる人に育ってほしいと願っています。

### Q 保育園として大切にしている取り組みをお聞かせください。

**A** 1つはリズム運動です。当園には園庭がありませんが子どもたちが園内で運動できる空間を作りたくて、2階に柱のない大空間を作りました。その中でピアノの音を聞いて子どもたちが運動をします。このリズム運動では参加しない子をそのままにするのではなく、「ちょっとでも参加しよう」と働きかけをします。また出来ないからやらないのではなく、少し簡単な動きからでもやってみるように声を掛けます。みんなが前より少し上手になることを目指して行います。それからリズム運動というのは誰かの合図で動くのではなく、ピアノの音を聞いて、子どもたちが思い思いに動いて、思い思いに戻ってくる運動です。指示を待つのではなく子どもたちが自主的に動く力を養ってほしいと思っています。

2つめは散歩です。雨さえ降らなければ必ず散歩に行きます。だからそらいる保育園の子どもたちはとてもよく歩きます。そして地域の公園をととてもよく知っています。園庭が無いことをデメリットと思うのではなく、地域全体を自分たちの園庭だと思えばいいじゃないかという気持ちです。

もうひとつは海老ヶ瀬前園長のライフワークでもある絵本です。毎月1回「えびがっちゃん文庫」という読み聞かせを続けています。子どもたちに絵本を通して、ワクワクする気持ちを体験したり無限に広がる絵本の楽しい世界を味わってほしいと思っています。

### Q 屋外活動する時の事故防止などのリスクマネジメントについてお聞かせください。

**A** 事故防止のためのマニュアルを作成したり、公園内の危険な所やそこへ行くためにこんな危険なことがあるよねという「お散歩マップ」を作成し、活用しています。散歩のコースに沿って横断歩道はこうなっていると、車の通行量とかについての情報を共有することで、職員としてリスク回避に取り組んでいます。

### Q 保育園として地域とどういった関わりを持ちたいと考えられていますか?

**A** 開園当初に「あそぼう会」という企画を行いました。これは地域の子どもたちに当園の園児と同じ体験をしてもらう試みでした。まずはリズム運動を園児と一緒に参加してもらいました。コロナ対策をしながらはありますが、これからも集団遊びやごっこ遊びなど色々な内容でもできるのではないかと思います。

また、園医の河本先生と小児の予防接種についての勉強会を開催しました。小児科の先生に地域のお母さんからの質問などに答えていただけるいい機会になりました。テーマを変えて継続できると思います。

これからの企画としては、地域の元気な高齢者に先生になっていただき、当園に教えに来ていただきたいと考えています。例えば昔の遊びとか料理とか、色々な事を園児と一緒にやってもらうイメージです。

現在、地域の他の保育所に、本の読み聞かせや手遊びなどに参加させてもらっています。今後は交流先を増やし、交流内容もリズム運動や泥んこ遊び、集団遊びなど色々なことも同士の交流を進めていきたいと思っています。子育て中のお母さんお父さんや高齢者との交流など様々な世代との交流も実践して行きたいと考えています。

### Q では最後に一言お願いします。

**A** そらいる保育園に来られるお母さんお父さんにいつもお話しさせて頂いているのですが、そらいる保育園はすべての保育園の中で一番いい保育園だとは思っていません。ただ「こだわり」のある保育園であるとは思っています。そらいる保育園の「こだわり」を知って頂いて、そらいる保育園がいいと言っていただける保育園になりたいと思います。ナンバーワンの保育園になろうとは思いませんが、そらいる保育園にあった保育を追求して、オンリーワンの保育園になりたいと思います。

### 本日はありがとうございました。



運動会



遠足



卒園式

### そらいる 保育園の 主な行事と 1日

4月	入園式 春の遠足
5月	定期健康診断
6月	歯科検診
7月	七夕 プール遊び 川遊び
8月	プール遊び
10月	運動会
11月	定期健康診断 秋の遠足
12月	親子クリスマス会
1月	もちつき
2月	節分・豆まき
3月	お別れ遠足 卒園式

7:30	開園 自由遊び
9:30	朝の集まり
10:30	お散歩
11:30	昼食
12:30	小さいクラスは就寝
12:50	幼児クラスは絵本や紙芝居後就寝
15:00	手作りおやつ 自由遊び
16:00	順次降園